

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

## ⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-44765

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)4月16日

H 04 N 1/32

J

2109-5C

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑮ 考案の名称 ファクシミリ装置

⑯ 実 願 平2-87720

⑰ 出 願 平2(1990)8月22日

⑱ 考 案 者 齊 藤 浩 久 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

⑲ 出 願 人 株 式 会 社 リ コ ー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

- 1 サービス総合デジタル網に端末として接続され、受信不能期間中に相手先からの着呼があったときに、該着呼に対して所定の処置をとりうるように、サービス総合デジタル網での通信によつて送られる相手先に関する情報を取得するようになっていることを特徴とするファクシミリ装置。
- 2 請求項1記載のファクシミリ装置において、受信不能期間中に相手先からの着呼があったときに取得した相手先に関する前記情報に基づいて、受信機能回復後、相手先に擬似発呼し受信機能が回復した旨を伝えるようになっていることを特徴とするファクシミリ装置。
- 3 請求項1記載のファクシミリ装置において、

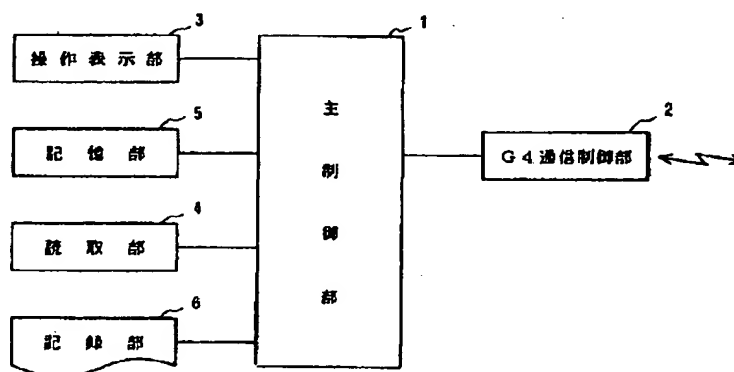
受信不能期間中に相手先からの着呼があったときに取得した相手先に関する前記情報に基づいて、受信機能回復後、特定の相手先に限り、ポーリング受信の発呼を行なうようになっていることを特徴とするファクシミリ装置。

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るファクシミリ装置の一実施例のブロック図、第2図は第1図のファクシミリ装置における受信処理の流れを示すフローチャート、第3図a、b、第4図、第5図は受信不能期間中の着呼に対して受信側でなされる処置を説明するためのフローチャートである。

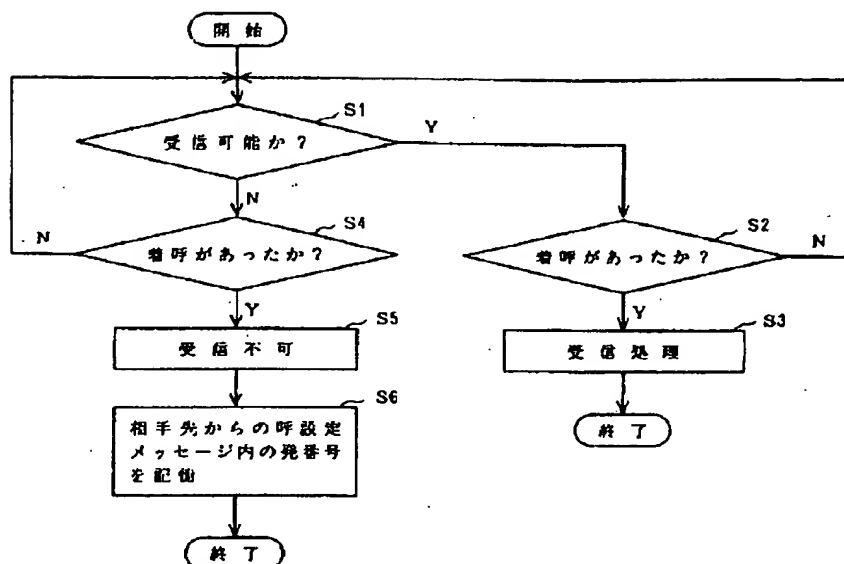
1……主制御部、2……G4通信制御部、3……操作表示部、4……読取部、5……記憶部、6……記録部。

第1図

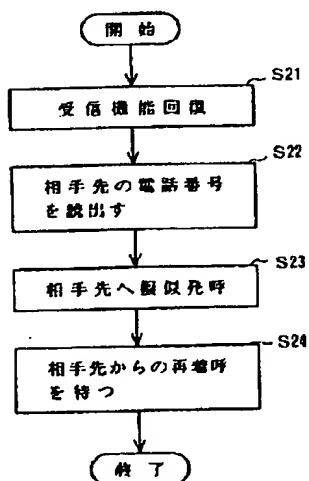


実開 平4-44765(2)

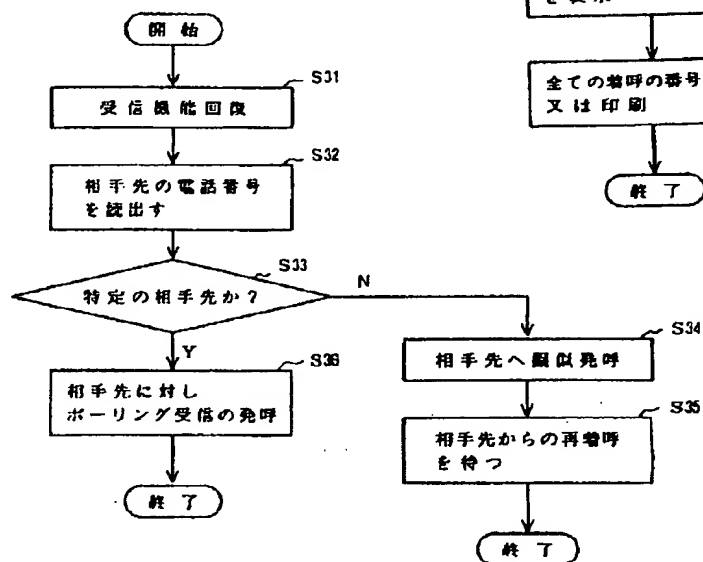
第 2 図



第 4 図



第 5 図



第 3 図

